

産業教育・職業教育の充実

平成23年1月の中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方」についてでは、キャリア教育と職業教育の関係を次のように整理している。

《ア》育成する力

◆ キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度。

◆ 職業教育

一定又は、特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度。

《イ》教育活動

◆ キャリア教育

普通教育、専門教育を問わず様々な教育活動の中で実施される。職業教育も含まれる。

◆ 職業教育

具体的職業に関する教育を通して行われる。この教育は、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成する上でも、極めて有効である。

高等学校における職業教育は、専門的な知識、技能、能力や態度を育成し、社会に生き、社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観等を醸成し、豊かな人間性を養うことなどにも配慮した教育により、職業へ円滑に移行する準備を行うという面とともに、専門的な知識・技能の高度化に対応した教育により、新たな職業への就職や高等教育機関への進学を含め、自己の将来の可能性を広げていくことができるという面からも重要性は高い。

本県では、全国と比較して専門学科に進学する生徒の割合も高く、職業へ円滑に移行する準備及び自己の将来の可能性を広げていくことができる産業教育・職業教育の充実を図ることは重要である。

① 沖縄県の現状や課題

現在、高等学校に進学する者が98%近くおり、中学校を卒業した者のほとんどが、進学している状況にある。

生徒数の割合で見ると、普通科が62.5%（全国73.1%）、専門学科が26.4%（全国18.3%）、総合学科4.2%（全国5.4%）と、普通科が多くを占める割合となっているが、全国と比較して専門学科に進学する生徒の割合が高い。

専門学科を卒業した者の約4割が就職しており、地域産業の中で専門学科の卒業生に対する人材の需要が存在する分野がある一方で、職業人として必要な専門的な知識・技能が高度化している分野があることや職業が多様化しているにもかかわらず、その対応が不十分であることなどが課題として指摘されている。

② 今後の充実方策

今後、産業教育・職業教育を充実させていくには、以下の点が重要である。

① 産業界等との連携

職業に関する各教科については、地域や産業界等との密接な連携の下に指導の充実を図ることが不可欠である。また、産業教育において重視してきた地域や産業界等と連携した実験・実習などの実践的、体験的な学習活動は、「主体的・対話的で深い学び」を実現する上でも重要なものであることから、地域や産業界等との連携がより一層求められる。

② 中学校との接続

中学校の教員が職業の多様性や専門高校について理解を深めることが重要である。また、中学生の主体的な進路選択に資するよう、専門高校での学習に対する理解・関心を高める取組も求められる。

③ 大学等との接続

職業人に求められる能力が高度化、多様化する中で、専門高校で学んだ生徒が更にその学びを深めるために大学等へ進学し、特色ある人材として育てている。大学等との接続を視野に入れた産業教育の充実が求められる。

③ 今後の望ましい産業教育・職業教育

沖縄21世紀ビジョンでは、県民が望む将来像として「時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな『美ら島』おきなわ」を示している。その実現のためには、将来のスペシャリストとして、地域の産業に貢献できる、人間性豊かな職業人の育成を目標としている専門高校の果たすべき役割は大きい。

・本県の産業振興を担う人材の育成

沖縄県の産業振興を担うという気概や社会貢献意識を伴った高いプロフェッショナル意識を醸成するとともに、世界的な視野をもった人材を育成する必要がある。

・地域の産業を・社会を支える人材の育成（職業人としての土台づくり）

望ましい勤労観・職業観、社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力といった「職業人としての土台づくり」を推進していく必要がある。